

策定懇話会・地域懇談会での主な質問・意見について

区 分	件 数
(1) 総論・方向性に関すること	29件
(2) 総合事業（介護予防・生活支援）に関すること	1件
(3) 認知症に関すること	5件
(4) 在宅医療・介護連携に関すること	1件
(5) 在宅復帰支援に関すること	1件
(6) 施設に関すること	5件
(7) 地域包括支援センターに関すること	3件
(8) 介護人材に関すること	5件
(9) 介護者負担に関すること	6件
(10) 保険料・利用者負担に関すること	9件
(11) 健康寿命の延伸に関すること	7件
(12) 地域での見守りに関すること	15件
(13) 高齢者の参加に関すること	10件
(14) ひとり暮らし高齢者等に関すること	2件
(15) 周知・啓発に関すること	2件
(16) 行政組織に関すること	1件
(17) その他	17件
合 計	119件

(参考) 地域懇談会の開催状況について

日 時	会場（所在地）	参加人数
8月22日（火） 14:00～15:30	富山市まちなか総合ケアセンター1F 地域連携室 （総曲輪四丁目）	32人
8月23日（水） 14:00～15:30	岩瀬カナル会館2F 大ホール （岩瀬天神町）	39人
8月24日（木） 14:00～15:30	婦中ふれあい館2F 大研修室 （婦中町砂子田）	51人
8月25日（金） 14:00～15:30	大沢野ふれあいセンター2F 大研修室 （大久保）	29人
合 計		151人 （平均約38人）

策定懇話会・地域懇談会での主な質問・意見の内容

No	会場	区分	内容
1	懇話会	総論・方向性 (高齢者対策)	本日の資料に関して、保健福祉計画と介護事業計画を一体にしたものがあるが、これはなぜ一体化したのか、一体化することによってどのようなメリットがあるかを盛り込んだら良いと思う。
2	懇話会	総論・方向性 (高齢者対策)	高齢者総合福祉プランをどのように効率的、かつ、少ない予算で効果を上げるかという立体構造、長期トレンドに基づく考え方を示していただきたい。
3	懇話会	総論・方向性 (高齢者対策)	今回のプランでの成果指標で達成できていない項目について分析し、新しい計画に活かしていただきたい。
4	懇話会	総論・方向性 (高齢者対策)	「健常高齢者の活用、維持」、「ひとり暮らし高齢者の見守り方法」に関して、介護が必要になる前の対策の充実が必要
5	懇話会	総論・方向性 (高齢者対策)	後期高齢者の増加が見込まれる中、認知症高齢者が急増することが危惧されているが、今後、どのような問題点が予測されるのか、どのような水準まで改善を見込むのか問題点の絞り込みと改善目標が不明確である。
6	地域懇談会 (まちなか)	総論・方向性 (高齢者対策)	高齢者福祉は、地区に高齢者ニーズに大きな違いがあると思うが、総合福祉プランと言う形で、まとめられる事であるか。地区ごとに違ったサービスのあるプランであってほしい。
7	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (高齢者対策)	地域での地域力をどのように高めていくかということを施策に盛り込んでいただけるとありがたい。自助、共助も大切であるが、近所の人との地域力をどのように高めていくかということを施策に盛り込んでいただきたい。
8	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (高齢者対策)	市の高齢者施策の考え方が、介護予防や認知症予防が進むと市の財政負担が少なく済むという視点で、高齢者施策の検討が進められていると思う。高齢者が置かれている現状に沿った施策を基本に据えて検討していただきたい。
9	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (高齢者対策)	5年後、10年後を見た場合、現在地域を支えているのは60歳以上の団塊の世代及びその前後の人々である。夫婦のみ世帯又はひとり暮らしが60～70%という現状を思うと、私の住んでいる地域では、在宅介護の考えは難しいと思う。そのことを見据えた方向性を考えていかなければならない。
10	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (高齢者対策)	高齢者を「65歳～74歳」、「75歳～85歳又は90歳」、「90歳～」に区分して福祉プランを策定してはどうかと思う。
11	地域懇談会 (大久保)	総論・方向性 (高齢者対策)	要介護や認知症などの者に対する今までの取組みについては、非常にきめ細かに実施されており、ここまでやるのかという印象を持った。一方で、健康な高齢者にはあまり関係が無いように感じた。健康な高齢者への対策についても考えてほしい。
12	地域懇談会 (大久保)	総論・方向性 (高齢者対策)	高齢者保健福祉実態調査の結果を反映したプランにしてほしい。また、地域で活動する人づくりの支援をしてほしい。
13	懇話会	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	まちなかは素敵になってきている一方で、まちなかに出てくるのに公共交通で長時間もかかる。また、気軽に買い物ができる場所も減っている地域もある。まちなか以外の地域では、だんだん高齢者が住みにくくなっている状況があるということを理解してほしい。
14	地域懇談会 (まちなか)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	市街地の活性化の取組みとして市内電車路線延長による交通の利便性についても考える必要がある。 例えば、下記ルートの開設など ・「西町」→「不二越」→「富立大橋(常願寺河川公園へ)」 ・「西町」→「上り立町」→「富山トヨタ本社前」→「富山中央郵便局前」
15	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	市内電車や富山ライトレールを延長し、新庄地域や清水町地域を回る中コンパクトなまちづくりが良い。

No	会場	区分	内容
16	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	コンパクトなまちづくりも良いが、自宅からスーパーまでが遠く、公共交通機関も少なく、自家用車がなくなるとどこへも行けなくなる。病院も近くに無いため、病院の確保もお願いしたい。
17	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	コンパクトなまちづくりも良いが、郊外をどうするのが課題である。
18	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	コンパクトなまちづくりといっても農村部の方はどうなっていくのか。ポータル、ライトレールを利用できる地域は良いが、公共交通機関が無いところはどうか。
19	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	八尾・婦中から旧富山市方面への路線におでかけ定期券を使っても、越前町では100円でいけない。総曲輪で降りなければならない。富山大和や図書館まで長距離を歩くことになり、利用しづらい。
20	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	高齢者が市中心街に滞留できる時間を長くするため、「おでかけ定期券」の利用時間帯を18時まで延長してほしい。例えば、大手町ホールでの会議の後、大和で食事や買い物をする山多屋八尾地区の人はバスの時間を気にしてゆっくりする余裕がない。せっかく中心市街地の賑わいを目指しているのに、早々に帰宅を促す施策はいかがなものか。
21	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (コンパクトなまちづくり)	婦中では、コミュニティバスの自主運行に向けて婦中町全体でアンケートを収集中である。一方でコミュニティバスの自主運行を迫りながら、もう一方で「高齢者輸送サービス」、「おでかけ定期券」、「おでかけタクシー」と、いかにも高齢者に手厚くしているように見せていることについてギャップを感じる。
22	地域懇談会 (岩瀬)	総論・方向性 (障害者対策)	地域共生社会の実現を目指すという国の施策が打ち出されている中で、障害者と高齢者を分けて考えるような縦割り行政では良くない。縦割りの壁を無くすような高齢者総合福祉プランにしてほしい。
23	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (障害者対策)	65歳以上の障害者に対する施策が必要。高齢者福祉プランと障害者福祉プランの一体化を期待する。
24	地域懇談会 (大久保)	総論・方向性 (障害者対策)	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」との整合性が必要ではないか。
25	懇話会	総論・方向性 (その他)	第6期の様々な対策に関する進捗を図ることも大切だが、それによって富山市はどうか良くなったか、「一人当たりの給付額が減った」、「保険料が安くなった」などの目に見える成果を示してほしい。
26	懇話会	総論・方向性 (その他)	資料4の施策検討の主な視点が、充実や推進など抽象的なお題目だけになっているが、各施策を定量的に捉えるべき。
27	懇話会	総論・方向性 (その他)	国の施策「一億総活躍プラン」に迎合する必要はないと思う。
28	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (その他)	高齢者の親と障害者の子どもの家族で親が認知症や入院等になった時や死後の支援体制まで計画すべきである。
29	地域懇談会 (婦中)	総論・方向性 (その他)	地域共生社会の実現に向けて、「地域力の強化」を盛り込んだ計画が必要ではないか。
30	地域懇談会 (婦中)	総合事業(介護予防・生活支援)	要支援1・2の方で、給付の切り捨てで困っている人が多く出てきている。見直し・検討の余地はないのか。
31	懇話会	認知症	高齢者が増えれば認知症の方が増えるということはわかるが、認知症高齢者の比率が増える理由を教えてください。
32	地域懇談会 (岩瀬)	認知症	認知症対策をもっとしてほしい。脳トレ体操教室の回数を増やしてほしい。私の町内では(月2回開催されているが)、もっと増やしてほしいという声が上がっている。
33	地域懇談会 (岩瀬)	認知症	健康に関するTV番組が増えているが、認知症にならないような食べ物、生活のあり方をもっと知らせてほしい。

No	会場	区分	内容
34	地域懇談会 (岩瀬)	認知症	平成37年に向けて、認知症の高齢者が高齢者全体の5人に1人になる、認知症サポーターを確保してほしい。また、認知症の早期予防ができないかとも思う。
35	地域懇談会 (岩瀬)	認知症	認知症に対するアンケート結果と解析を富山市の広報で報告すべきだと思う。
36	地域懇談会 (岩瀬)	在宅医療・介護連携	地域包括ケアシステムの構築に関して、中学校区ごとの地域包括ケアシステムの内容を明確にしてプランを策定されたい。 ・医療(医師)、介護(介護福祉士、ケアマネ)、自治振興会、町内会長、民生委員等をメンバーにして素案を作成 ・メンバーの打合せ・討議により要介護者を在宅介護とするか施設入りするかを検討 ・南砺市の包括ケアシステムを参考にモデルを作成
37	地域懇談会 (婦中)	在宅復帰・支援	要支援・要介護者に対して運動機能回復に関する支援がある。ただし、運動機能が回復し、要支援等から外れると支援が無くなる。要支援等になった人を対象に支援することはもちろんであるが、予防として、要支援・要介護にならないための支援の充実が必要と思われる。
38	懇話会	施設	「保険者機能の強化」として、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームに対する市の指導・監督機能を強化していただきたい。
39	地域懇談会 (大久保)	施設	定期巡回随時対応介護看護施設が、なぜ計画通り進んでいないのか。また、サービス付き高齢者向け住宅については、将来的に高齢者に対するサービスが担保できるのか不安視している。意外とリスクが高いと考えている。市として何か指導を行うことは考えているのか。
40	地域懇談会 (大久保)	施設	施設の整備が全国でも高い水準であるとあったが、高齢者保健福祉実態調査の中では、6割程の方が「在宅で暮らしたい」との回答されている、こうした声を重視した施策展開をお願いしたい。
41	地域懇談会 (大久保)	施設	地域包括ケアシステムは在宅が基本にあるが、各種の施策の中に在宅に向けた施策が弱いように思う。
42	地域懇談会 (大久保)	施設	サービス付き高齢者向け住宅の伸びは大きいですが、将来的なリスクが大きいと思っている。行き場のない高齢者が続出することのないよう、登録でなく認可とならないか。
43	地域懇談会 (まちなか)	包括支援センター	包括支援センターは利用していないが、重症にならないと相談に行けないのか。疑問である。
44	地域懇談会 (岩瀬)	包括支援センター	包括支援センターの作業の対象者を明確に説明してほしい。
45	地域懇談会 (婦中)	包括支援センター	地域包括支援センターの周知徹底(特にお年寄りに対して)
46	懇話会	介護人材	小規模多機能型居宅介護は、利用者から見ると、様々なサービスを組み合わせることもでき、お金も定額で魅力的なサービスだと思うが、サービスが多岐に渡る分、基準を満たす人員が集まらないということが問題になっている。
47	懇話会	介護人材	介護に携わる職員・人材の確保については、各事業所まかせではなく、プランの中で介護職員の確保を重要な課題として取り上げていただきたい。
48	地域懇談会 (まちなか)	介護人材	ホームヘルパー資格を中高齢者で取らせる取組みがあると良い。
49	地域懇談会 (大久保)	介護人材	社会教育、学校教育の場で、幼少期から高齢者に対する思いやりの心を育てる福祉教育を推進してもらいたい。生涯学習の中で、共生社会として障害者も高齢者もひとり親家庭の方も、皆さん幸福を感じるようにしてほしい。プランに福祉教育の啓発について加えてほしい。
50	地域懇談会 (大久保)	介護人材	今後ますます介護を受ける人が増える中で、介護で働く人が少ないのが現状である。賃金の問題もあると思うが、対策を考えてほしい。
51	懇話会	介護者負担	「市民後見の充実」とあるが、富山市で市民後見が増えるよう促してほしい。
52	懇話会	介護者負担	介護者の不安に対する支援は、いわゆる介護者支援に留まらず、介護予防につなげていく大事な視点だと思う。

No	会場	区分	内容
53	懇話会	介護者負担	介護者への支援は、介護保険課で実施されていくのか、それとも長寿福祉課で実施されていくのか、よくわからない。
54	懇話会	介護者負担	介護者へのフォローをしっかりと行っていくことが、介護者自身を要介護にしない予防の点でも効果的である。
55	懇話会	介護者負担	計画中で「介護者の支援」について記載されているのは「認知症ケア体制の整備」の部分だけであり、認知症以外のねたきり等の要介護の方の介護者へのフォローをどこでやっていく明確にしてほしい。
56	懇話会	介護者負担	「介護と仕事の両立に向けた支援」とあるが、対処療法ではなく、両立できないことの要因を考え、根本的な部分の支援を行うことが効果的な施策につながるのではないかと思う。
57	懇話会	保険料・利用者負担	75歳以上の後期高齢者が増加に伴って要支援・要介護の方が増えることが考えられる。富山市として介護予防に力を入れ、要介護認定率の改善を図り、保険料の削減につなげていくところを計画に入れていただきたい。
58	地域懇談会 (まちなか)	保険料・利用者負担	介護ボランティアのポイント制の導入。(貯まったポイントを今後の自分の介護に使用する)
59	地域懇談会 (まちなか)	保険料・利用者負担	今後も充実した総合福祉プランの策定とその実施に期待しているが、介護保険料が上昇しないよう策定してほしい。(介護内容メニューの検討)
60	地域懇談会 (まちなか)	保険料・利用者負担	介護報酬が上がると介護保険料は上がるのか。上限はあるのか。
61	地域懇談会 (岩瀬)	保険料・利用者負担	政策と保険料の関連性がわかりやすく、市民の具体的な行動に結びつけられると良い。データの数字だけでなく、時代背景などを分析し、保険料の金額と政策がリンクして見えると非常にわかりやすい。
62	地域懇談会 (岩瀬)	保険料・利用者負担	介護保険料を毎年収めているが、介護保険の利用をしなかった場合、保険料の一部を返還することを検討してほしい。(町単位で考えられないか。)
63	地域懇談会 (婦中)	保険料・利用者負担	富山市の介護保険料は高いと感じている。何とかしてほしい。
64	地域懇談会 (大久保)	保険料・利用者負担	家族が多く在宅で要介護の方を看ることができる場合には、介護保険料を安くするといった施策は考えられないか。
65	地域懇談会 (大久保)	保険料・利用者負担	介護保険料が所得に応じて3割になるという話だが、私はもっと取っても良いと思う。4割でも良いと思う。
66	懇話会	健康寿命の延伸	介護を受ける側からすれば、その対象者については十分な介護をするということが重要だと思うが、そのためには介護を受ける者の数が減ってこないといけない。軽度認知症の方などに対する介護予防に力を入れていくことが重要だと思う。
67	懇話会	健康寿命の延伸	老人クラブと同様で、全国的な傾向としてシルバー人材センターにおいても会員数が減ってきている。仕事を受けられなくなっているというのが現状である。会員数を増やすPRは行っているが、委員各位に協力をお願いしたい。
68	懇話会	健康寿命の延伸	高齢者保健福祉実態調査に基づき、高齢者の生活の3大不安「病気」、「認知症」、「寝たきり」を取り除くことが望まれる。
69	地域懇談会 (まちなか)	健康寿命の延伸	長期間、介護サービスを受ける高齢者が増えることは間違いない。健康寿命を延ばす方向性もポイントにしてほしい。
70	地域懇談会 (まちなか)	健康寿命の延伸	高齢者の割合が年々高まり、健康寿命が問題だと思う。中心市街地の活性化の観点から、まちなかへ出歩く高齢者を多くする取り組みなどが必要と思われる。TOYAMAキラリの充実や映画館、教養講座の開設、運動機能維持・とレーニング施設など、金のかからない設備などを充実させる必要がある。
71	地域懇談会 (まちなか)	健康寿命の延伸	健康寿命を延ばす努力をする人などへの支援は、まちなかの活性化や外出する高齢者の助けになる。

No	会場	区分	内容
72	地域懇談会 (岩瀬)	健康寿命の延伸	平均寿命年齢と健康寿命年齢との差が10歳くらいあると聞いている。康寿命年齢を延ばすような施策をしてほしい。
73	懇話会	地域での見守り	守秘義務や個人情報保護を理由に民生委員に情報を共有してもらえないことがある。地域にいても見えてこない部分が多く、見守りができない状況である。
74	懇話会	地域での見守り	地域の見守りについて行政がどのように温かい言葉でプランに示してくれるか、期待している。
75	地域懇談会 (まちなか)	地域での見守り	今回の介護保険法改正においては、地域ボランティア、住民主体の見守りやゴミ出し等が例としてあるが、これまでも自治振興会では、住民自治の繋がりを中心にご近所の関係を大切に自分たちができる協力を考えて取り組んでいる。市内全域において統一した方法は困難であろうが、自治振興会や町内会といった組織や関係性を有効に使うべきだである。
76	地域懇談会 (岩瀬)	地域での見守り	個人情報保護の制限を受ける中で、包括支援センターの作業の手伝いはできない。
77	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	元気な65歳～75歳の人たちに介護を必要とする人たちを見守ってもらうことで少しでも安心して暮らせるまちづくりになると思う。
78	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	向こう三軒両隣の良好な関係を作るために、小さな地域で小さな単位でのサークル、サロンの対策に力を入れてほしい。一方で、長寿会では、小さな単位でのリーダーを作ることは大変難しいとも感じている。
79	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	老人クラブに頼りすぎることのないようにしてほしい。
80	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	高齢化が進んでいるが、老人クラブの加入者が少ないことが今後の問題である。
81	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	民生委員が担当する戸数が多すぎて、手が回らないのではないかと。もっと民生委員の仕事をサポートする役割が新たに必要になっているのではないかと。
82	地域懇談会 (婦中)	地域での見守り	高齢者の増加に当たり、市全体で三世代が家族としてともに生活でき、協力して助け合う地域社会が構築できる施策を実施してほしい。
83	地域懇談会 (大久保)	地域での見守り	地域の繋がりが薄く、民生委員や社会福祉推進員などを担う方の質も下がってきている。そういった方々を育てる仕組みづくり、地域づくりが必要だと思う。
84	地域懇談会 (大久保)	地域での見守り	老人クラブは近年新会員も少なく、役員のみ手がいらないとのことで、老人クラブ連合会を脱会した老人クラブが近年2件あった。今後もそういったクラブが増えていくのではないかと懸念している。老人クラブにあまり期待しないようにしてほしい。
85	地域懇談会 (大久保)	地域での見守り	公助・共助・自助の中で、これからは共助(ちいき)での自立した助け合い、支え合いが重要なポイントと考える。地域のリーダー育成のための支援をさらに充実させるようお願いしたい。
86	地域懇談会 (大久保)	地域での見守り	地域の第一線を支える「民生児童委員」、「社会福祉推進員」等に対する施策が必要。そういう方が少なく、また役員になった方も地域活力、知識において不十分である。育てるのに苦労している現場が多い。中心になる方が疲弊してしまえば福祉活動が進まない。そういう方を疲れさせないような人材育成、組織体制づくりに行政の支援が必要な時代になっていると思う。
87	地域懇談会 (大久保)	地域での見守り	熊野校下においては、地区社協及び民生児童委員の負担が非常に大きくなってきている。市としての具体的対策が急がれる。
88	懇話会	高齢者参加	高齢者保健福祉実態調査に基づき、「運動」「交流」「趣味や教養活動」など、健康づくりや介護予防の要望に応える。
89	地域懇談会 (まちなか)	高齢者参加	高齢者サロン事業を実施したいが、地域に公民館の無い町内が多く、活動場所が無い。空き家を活用した高齢者サロンの実施について、市から支援があれば良い。
90	地域懇談会 (まちなか)	高齢者参加	各町内会における高齢者ふれあいサロンの設置が必要だと思う。

No	会場	区分	内容
91	地域懇談会 (まちなか)	高齢者参加	懇談会で意見を言われた方もいたが、各町内公民館(もしくは空き家)の利用は良い案だと思う。
92	地域懇談会 (岩瀬)	高齢者参加	第7期のプランにおいては、「生きがいつくりと社会参加の推進」の取組みである、老人クラブ、サークルへの支援について、参加人数、開催日数(2~3回/月)の見直しをしてほしい。
93	地域懇談会 (婦中)	高齢者参加	社会福祉協議会では、外出時の介護予防ふれあいサークルや地域力を向上するための見守りなどに取り組んでいるが、だんだん高齢化が進み、リーダーとなる人材がいなくなってきた。市で援護策を検討していただけるとありがたい。
94	地域懇談会 (婦中)	高齢者参加	65歳~75歳の元気な高齢者が集える場所を中山間地にも設置するなどの施策が必要。
95	地域懇談会 (大久保)	高齢者参加	老人会に入っているが、皆楽しく参加したいと思っているので、世話役を務めることを嫌がり、そのような役割を担う人が減ってきている。老人会の世話役への支援などを充実させてほしい。
96	地域懇談会 (大久保)	高齢者参加	楽々いきいき運動を昨年度に紹介してもらい実施している。非常に良い制度だと思う。これがきっかけで将来の支えあいの組織や関係ができたことに感謝している。ただし、この制度は2年で打ち切られてしまう。一定の助成を受けた後は自力でやっていくことを期待しているということだと理解はできる。しかしながら、共助という立場で、リーダーを育成するというに支援していただければと思う。
97	地域懇談会 (大久保)	高齢者参加	大山地域には37のいきいきサロンがあり、富山市社協大山支所にボランティアの紹介講師(健康運動指導士)の紹介、レクリエーション用具の貸し出し等支援してもらっている。大山支所を廃止しないでほしい。
98	地域懇談会 (まちなか)	その他	在宅に向けたサービスを強化していく旨の話が聞けて良かった。
99	地域懇談会 (岩瀬)	ひとり暮らし高齢者等	子どもが家を巣立っていく中で、夫婦2人だけの暮らしとなり、これからが心配である。まちなかだけでなく地域にも目を向けてほしい。
100	地域懇談会 (大久保)	周知・啓発	プランを策定した後、これを市のホームページ等を活用して、市民の皆さんに熟知させる方法は検討されているのか。せっかく計画を作っても知らない方がたくさんいるのではないと思う。素敵なことが計画されているので、実際に実施されるよう啓発してほしい。
101	地域懇談会 (大久保)	周知・啓発	要介護の家族介護者に対する介護手当の制度があると思うが、知らない方が多い。介護が終わってからその制度を知ったという方がいるとも聞いた。デイサービス等の施設の方が少し気を利かせて教えていただけたら良いと思う。行政的に指導することはできないか。
102	地域懇談会 (婦中)	行政組織	縦割り行政から串刺しの横割りの行政への移行をお願いしたい。(相互支援体制を強化し、たらい回しにならないように。)
103	懇話会	その他	老人クラブの団塊の世代の者たちに聞くと、年金だけでは生活費が足りないという話をよく聞く。富山市において高齢者に対する仕事の斡旋はされているのか。
104	懇話会	その他	健康保険制度利用の見直し ①糖尿病予防のための生活改善 ②血管管理基準の見直し
105	地域懇談会 (まちなか)	その他	市の遊休施設の開放などをもっとやるべきだと思う。
106	地域懇談会 (まちなか)	その他	地域懇談会を地域単位(例えば地区センター)で開催してはどうか。地域の各種団体の代表による懇話会を開き、意見を交換することも一案ではないか。
107	地域懇談会 (岩瀬)	その他	縦割りから横割りにすると言っているが、掛け声で終わらず、即実行することが大事ではないか。
108	地域懇談会 (岩瀬)	その他	地域包括支援センター中心で進めている地域包括ケアシステムの構築状況(ケア会議)について、進んでいる地域はどの程度進んでいるのか。

No	会場	区分	内容
109	地域懇談会 (岩瀬)	その他	高齢者の運転免許の更新について、運転能力が低下していない人の更新を簡単にできるように検討してほしい。(簡単にチェックする方法をお願いしたい。)
110	地域懇談会 (婦中)	その他	高齢者保健福祉実態查の中で回答が多かった冬季の除雪における保険や住宅の修繕に対する助成などがあれば、活動の支えになると思う。
111	地域懇談会 (婦中)	その他	介護保険サービスの事業者アンケートで運営の大変さをもっと知りたかった。
112	地域懇談会 (婦中)	その他	「みんなでつくる、ぬくもりある福祉プラン」という基本理念は大変良いが、実際には、この広い富山市の中で、旧町村と旧富山市との間に格差が大きいと感じる。
113	地域懇談会 (婦中)	その他	地域包括ケアシステムの構築に向けた組織を発足したが、今後の進め方について心配している。活動を進めるための必要経費等をどのようにするか、どれくらいの予算が必要かが心配である。第7期の計画を進められる中で、その辺の経費の助成も検討してほしい。
114	地域懇談会 (婦中)	その他	地域包括ケアシステムの体制づくりに助成があれば良い。活動を展開するにつれ、寄付を当てにするような活動では積極的にやれないのではないかな。
115	地域懇談会 (婦中)	その他	合併後、地域のイベントの予算が年々減額されている。住民の絆を深めるために行ってきたものが、衰退傾向にある。高齢者は地域のイベントを楽しみにしている。
116	地域懇談会 (大久保)	その他	「健康まちづくりマイスター」について、山城先生が発表されていたこと以上のことをやっている地域もある。そういった取組みと連動していければ、「健康まちづくりマイスター」がもっと良いものになるのではないかなと思う。
117	地域懇談会 (大久保)	その他	中心市街地に行くための地鉄の各駅までの交通体系を充実してほしい。市営バスの運行コースを駅中心にして、きめ細かい経路にしてほしい。
118	地域懇談会 (大久保)	その他	生活支援のお買い物バス事業(社会福祉協議会)をもっと利用しやすくしてほしい。午前・午後の運行にする又は車を10人乗りに変える、運行台数を2台にするなど。
119	地域懇談会 (大久保)	その他	合併後、地域の要望も予算が無いからと取り上げてもらえない。一方で、プランの主な取り組みには多くの予算が必要となると思う。これ以上、上婦負地区がさびれることの無いよう取り組んでもらいたい。